

平成 30 年度 鶴ヶ峰地域ケアプラザ事業実績評価

平成 30 年度の評価	
全事業共通	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・ケアプラザ独自の地域アセスメントシートを活用しながら、5職種で地域情報の共有・地域特性の把握を行い、効果的な地域支援へと繋げています。 ・これまでケアプラザと関わりが少なかった地域に積極的に出向き、ケアプラザの周知や地域との新たな関係性の構築に努めています。
地域活動交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・特に子育て支援事業に力を入れて取り組み、地域の子育て世帯のニーズに応じた事業を積極的に展開しています。「ベビーヨガ」事業では、途中から、子どもの月齢に応じた2部制での開催に変更するなど、常に利用者の視点に立ち、工夫・改善をしながら取り組んでいます。また、小学生向けの「クッキー作り講座」(障害作業所が講師)では、クッキー作りと併せて小学生が障害について学ぶ時間を設けるなど、福祉教育の視点も取り入れて事業を行っている点が評価できます。 ・次年度以降、課題と捉えている、夜間の事業の展開や新しい世代の取り込みについて、具体的な取組が実現することを期待しています。
生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・居宅介護支援事業所に地域活動を情報提供するための冊子の情報量を増やし、インフォーマルサービスの活用推進に取り組みました。 ・「中田カフェ」の開催支援で培ったノウハウを活かして、他地区における詳細なニーズ把握と支援策の検討に着手しています。 ・高齢者の地域活動が見守り機能を持つ活動となるよう、団体と地域ケアプラザのネットワーク強化や活動上の課題を踏まえた新たな取組に着手されることを期待しています。
運営事業 地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・単身の認知症高齢者、複合的な課題を持つ世帯が増加する中、経験した事例の振り返りを時に関係機関を交えながら丁寧に行い、今後の個別支援につなげられるよう取り組んでいます。 ・個別支援を通して見出した地域の課題に対し、地域活動交流、生活支援体制整備の両部門とともに分析し、地域支援が行われていくことを期待しています。
<p>< 評価 (S/A/Bの3段階) ></p> <p style="text-align: center;">A</p>	